



関高 SGH 情報 第22号

平成 28 年 10 月 24 日(月)
SGH プロジェクト委員会

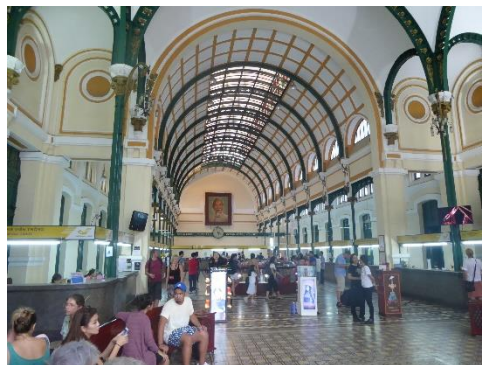
今回は、ベトナム研修5日間の参加記録その1です。

◇ ベトナム研修で、ヴィン、ダナン、ホイアンの各都市を訪問しました

日 時：平成28年10月9日(日)～13日(木) 参加者：希望生徒14名、引率教員3名
おもな訪問先：ファンボイチャウ高校、ダナン医業技術大学、ホイアンの町並み(世界文化遺産)

◇ 1日目(10月9日) セントレアからホーチミンへ ホーチミン市内見学

- ベトナム航空機で中部国際空港を飛び立ち、南部の拠点都市ホーチミンに向かいました。日本との時差は2時間ほどです。
- 入国手続き後、バスに乗っての市内観光に出かけました。かつてのフランスの植民地統治のなごりをとどめるカトリック大聖堂や中央郵便局(写真右)を見学しました。設計はギュスターフ・エッフェル。
- 国内便で北部のヴィンに移動。機体整備のため、2時間半遅れでようやくヴィンに到着しました。ホテルで歓待を受け、遅めの夕食。初めてのベトナム料理をおいしくいただきました。



◇ 2日目(10月10日) 午前 ファンボイチャウ高校での交流

- 朝7時から始まるファンボイチャウ高校の全校朝礼に招かれました。全校生徒と先生方の盛大な出迎えを受け、セレモニーが始まります。
- ベトナム国歌斉唱、校長先生の講話、成績優秀者の表彰に続き、関高校訪問団の歓迎セレモニーが始まりました。校長先生や生徒代表のスピーチ、民族舞踊やダンスの披露と続きます。関高側も、関高校歌、校長先生と生徒代表(中島想支君)のスピーチで応えました。
- 朝礼後、両校の教員で合同会議を開き、今後両校の交流を一層深めることで意見が一致しました。
- この間、関高生はファンボイチャウの生徒に案内され、教室へ移動しました。数学、英語、歴史の授業に参加、待ちに待ったベトナムの高校生や先生方との交流が始まりました。
- 最初は1年生の数学の授業。教室でベトナムの生徒たちに交じって授業に参加。難しい問題でしたが数式は万国共通。ベトナムの高校生と、英語で数学の解き方を話し合いました。最後は、日本から持参した入試問題の解き方について、ベトナムの先生を交えての議論となりました。たがいの解き方の違いも分かって、とても有意義でした。



- 続いて特別教室に移動し、英語や歴史の授業、さらに小グループに分かれての英語交流会に参加しました。ホー・チ・ミンの生涯を振り返るクイズ形式の授業、関市や関高校を紹介するプレゼン、英語を交えての少人数トークなど、楽しく有意義な時間を過ごしました。



◇2日目（10月10日）午後 ホー・チ・ミン廟、ファン・ボイ・チャウ生家訪問

- 午後はヴィン郊外のホー・チ・ミン廟（下段写真左）とファン・ボイ・チャウの生家跡（下段写真右）を訪問。独立運動や革命の時代に思いを馳せ、一同で献花し黙禱を捧げました。
- 高校名にもなっているファン・ボイ・チャウ（1867～1940）は、世界史教科書にも登場する独立運動家。日露戦争後に来日、日本とも関わった人物。郊外に残る生家跡を訪ねました。
- 続いて、ホー・チ・ミン（1890～1969）の廟所を訪れ、インドシナ戦争・ベトナム戦争を指導し、今日のベトナムの基礎を築いた人物の足跡をしのびました。
- ヴィンの市街地から郊外に足を延ばすと、牛や水牛、アヒルやニワトリがのびのびと過ごす昔ながらの田園風景が広がっていました。



◇3日目（10月11日）午後 ダナン医薬技術大学の訪問

- ヴィンからダナンに国内便で移動し、国立ダナン医薬技術大学を訪問しました。この大学では、JICA（国際協力機構）の「草の根技術協力事業」の一環として、「看護職を対象とした老年ケア・キーパーソン養成事業」が推進されています。
- ベトナム渡航前、私たちは協力・支援を行っている中部学院大学・飯尾良英先生から、事業概要の説明をうかがいました。来るべき高齢化社会に備えて、ベトナムの地で老年ケアの人材を育成しようという意義ある事業に、地元の大学や行政機関が関わっていることに、誇りを抱くと同時に、今まで以上に関心を持ちました。

- 大学ではミン学長の講話（下段写真左）、ベトナムの学生や先生方との交流会（下段写真右）、現地で指導にあたっている日本の先生方のお話など、多くの交流の機会を与えていただきました。ベトナムの学生さんたちとは、7月の関高での交流会で知り合ったばかりです。おいしい果物や軽食を囲んでの再会となり、会話も弾みました。



◇3日目（10月11日）夜、4日目（12日） 世界遺産ホイアンの町並み訪問

- 3日目夜、ダナンから自動車で30分ほどのホイアンを訪れました。ライトアップされた古い町並みの散策です。ホイアンには18世紀以降に建てられた木造建築物群があり、世界遺産に指定されています。現在残る建物は中国風建築ばかりですが、17世紀までこの地にあった日本町のなごりもわずかにとどめています。郊外には江戸期の日本人の墓地もありました。
- 夜、シルク製のランタンで美しくライトアップされた古い町並みを歩き、翌日、再度ホイアンを訪れて、海のシルクロード博物館や福建会館などの史跡を訪ね歩きました。



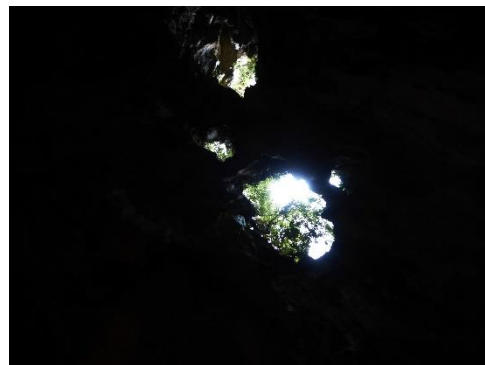
◇4日目（12日） ダナンのハン市場やスーパーマーケットの見学、ショッピング

- ダナン市内のハン市場を訪れました。さまざまな食料品や雑貨、衣類などがところせましと並んでいます（下段写真左）。頑張って値切り交渉し、安く品物を手に入れた生徒もいました（下段写真右）。さらに、韓国系のスーパーマーケット、ロッテマートにも出かけました。



◇4日目（10月12日）夜、5日目（13日）朝 ハノイからの帰国

- ダナンでは郊外の景勝地、五行山を訪ねました（上段写真左）。古くから聖地と仰がれた山々で、洞窟の中には仏像が祀られていました。石碑には江戸期の日本人の名も刻まれています。米軍の爆撃によってできた穴など、戦争の傷跡も残されていました（上段写真右）。
- 夕食後、ダナンのビーチを散策しました（下段写真左）。ベトナム一番のリゾート地で、ホテルや別荘地が並んでいます。ダナンをあとにし、ハノイ経由で中部国際空港をめざします。日本に近づくとだんだんと夜が明け、早朝、無事到着しました（下段写真右）。



生徒のレポートは次号で紹介します。